

2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月14日

上場会社名 株式会社TSIホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3608 URL <https://www.tsi-holdings.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 下地 毅
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 内藤 満 (TEL) 03-5785-6400
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績(2026年3月1日～2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	46,279	30.0	2,512	65.8	3,316	73.1	2,102	6.9
2026年2月期第1四半期	35,605	△9.4	1,514	48.7	1,916	72.9	1,966	260.1

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 △1,245百万円(—%) 2026年2月期第1四半期 2,060百万円(20.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	36.65	—
2026年2月期第1四半期	28.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	168,887	92,750	54.9
2026年2月期	174,204	99,321	57.0

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 92,750百万円 2026年2月期 99,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年3月1日～2027年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	91,500	38.3	1,200	87.4	1,000	△25.0	700	△46.7	12.02
通期	200,000	19.7	7,500	73.4	7,200	32.3	7,700	103.0	132.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年2月期1Q	63,438,793株	2026年2月期	63,438,793株
2027年2月期1Q	7,263,896株	2026年2月期	5,178,696株
2027年2月期1Q	57,361,481株	2026年2月期1Q	69,128,208株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報	２
(１) 経営成績に関する説明	２
(２) 財政状態に関する説明	３
(３) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	３
２．四半期連結財務諸表及び主な注記	４
(１) 四半期連結貸借対照表	４
(２) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	６
四半期連結損益計算書	６
第１四半期連結累計期間	６
四半期連結包括利益計算書	７
第１四半期連結累計期間	７
(３) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	８
(継続企業の前提に関する注記)	８
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	８
(追加情報)	８
(セグメント情報等)	９
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度(2026年3月1日から2026年5月31日まで)における当アパレル業界は、春の気候が例年よりも安定的かつ高めの気温で推移したことや、継続的な賃上げなどが好影響を及ぼしました。その一方で、円安・物価高による生活防衛意識の高まりや、中東紛争への懸念など、ネガティブな材料もありました。また、インバウンドについては、中国が半減したものの他地域が大きく伸び、訪日客数としては微減に留まりました。

その結果として、個人消費マインドは不安定要素がありながらも底堅く、マーケット状況は堅調に推移しました。

このような経営環境のもと当社グループは、2024年4月に公表した中期経営計画「TSI Innovation Program 2027(TIP27)」に基づき、前期より引き続き抜本的な収益構造改革及び成長戦略を推進しております。

売上高においては、前期に連結した㈱デイトナ・インターナショナルと㈱ウォーターフロントが期初より貢献している影響が大きく、大幅な成長となりました。既存事業では、メンズカジュアルブランドが前期より引き続き好調を維持していること、「ジル バイ ジル スチュアート」など一部のウィメンズブランドに回復傾向が見られたことなどのプラス影響がありました。また、自社ECサイト「mix.tokyo」は、前年同期比で20%を超える増収となり、着実に成長しております。

収益面においては、売上総利益率が前年同期比1.2ポイントの悪化となりました。これは新規連結2社の売上総利益率水準がビジネス構造上もともと低く、それによる押し下げ効果があったことが要因です。既存事業ベースでは、計画通りの収益改善が図れております。また、販管費率は前年同期比2.4ポイントの改善となりました。

その結果、売上高については、462億79百万円(前年同期比30.0%増)、営業利益は25億12百万円(前年同期比65.8%増)、経常利益は33億16百万円(前年同期比73.1%増)となりました。

また、当社グループの親会社株主に帰属する四半期純利益は21億2百万円(前年同期比6.9%増)となりました。

セグメント別の売上の概況は次のとおりです。

(アパレル関連事業)

当社グループのアパレル関連事業においては、メンズカジュアルブランドが引き続き売上を牽引しました。「アヴィレックス」では、デイリーウェアシリーズの売上が前年に引き続き好調に推移し、「ショット」ではオールド ヒッコリーシリーズの売上が大きく伸長しました。「ステューシー」は話題性の高い商品が集客に貢献し、売上は前年同期を上回りました。

セレクト業態では、前期より連結した㈱デイトナ・インターナショナルの主力業態である「フリークス ストア」がメンズ商品を中心に好調に推移し、「エルエイチピー」では人気ブランドとの別注商品が好調でした。アウトドアブランドの「アンドワンダー」は、インバウンド需要に支えられ、堅調に推移しました。

ウィメンズブランドでは、「ジル バイ ジル スチュアート」が新生活需要を捉えた商品提案により売上を伸ばし、「リランドチュール」や「マイストラダ」でもコラボ商品などが堅調に推移しました。また、「ナチュラルビューティーベーシック」はトップスを中心に販売が好調で、既存店売上は回復基調にあります。

ゴルフブランドでは、「ニューバランスゴルフ」を中心に堅調に推移しました。

この結果、アパレル関連事業の売上高は438億9百万円(前年同期比28.3%増)となりました。

(その他の事業)

その他事業では、前期より連結した、主に傘の企画・製造・販売を行う㈱ウォーターフロントが売上に貢献しました。このほか、アパレル特化SaaS型求人サービスの企画・運営などを行う㈱READY TO FASHION、販売代行・人材派遣事業を営む㈱エス・グルーヴ、店舗設計監理や飲食事業を営む㈱ブラックス、化粧品・香水・石鹸等の仕入及び販売を行うLaline JAPAN㈱などの事業により、売上高は26億48百万円(前年同期比63.2%増)となりました。

(２) 財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2026年２月28日)	当第１四半期連結会計期間末 (2026年５月31日)	増減
総 資 産	174,204	168,887	△5,317
負 債	74,883	76,136	1,253
純 資 産	99,321	92,750	△6,570
自 己 資 本 比 率	57.0%	54.9%	△2.1%
１株当たり純資産	1,704.79円	1,651.10円	△53.69円

資産は、棚卸資産の増加（前期末比14億61百万円増）等があったものの、現金及び預金の減少（前期末比20億40百万円減）、投資有価証券の減少（前期末比41億39百万円減）等により、53億17百万円の減少となりました。

負債は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少（前期末比16億16百万円減）、固定負債「その他」の減少（前期末比17億74百万円減）等があったものの、短期借入金の増加（前期末比50億45百万円増）等により、12億53百万円の増加となりました。

純資産は、純資産の控除項目である自己株式の取得（29億62百万円）、その他有価証券評価差額金の減少（前期末比33億45百万円減）等により、65億70百万円の減少となりました。

以上の結果、１株当たり純資産は、53.69円の減少となりました。

(３) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年２月期の業績予想につきましては、2026年４月10日に公表しました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,478	26,438
受取手形及び売掛金	13,855	14,803
商品及び製品	29,721	31,248
仕掛品	451	397
原材料及び貯蔵品	669	657
その他	6,537	5,555
貸倒引当金	△31	△17
流動資産合計	79,682	79,083
固定資産		
有形固定資産	7,394	7,808
無形固定資産		
のれん	32,238	31,665
その他	7,731	7,380
無形固定資産合計	39,970	39,046
投資その他の資産		
投資有価証券	28,628	24,488
投資不動産	2,237	2,314
その他	16,344	16,198
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	47,157	42,948
固定資産合計	94,522	89,803
資産合計	174,204	168,887
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,566	10,547
短期借入金	7,637	12,682
1年内返済予定の長期借入金	5,552	5,247
未払法人税等	1,483	1,290
賞与引当金	768	1,080
株主優待引当金	100	94
資産除去債務	101	89
その他	8,979	8,453
流動負債合計	35,190	39,486
固定負債		
長期借入金	31,621	30,309
役員退職慰労引当金	31	31
退職給付に係る負債	982	984
資産除去債務	3,266	3,307
その他	3,791	2,016
固定負債合計	39,693	36,650
負債合計	74,883	76,136

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年２月28日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年５月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	3,259	3,259
利益剰余金	73,374	73,113
自己株式	△5,233	△8,195
株主資本合計	86,400	83,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,281	7,936
為替換算調整勘定	1,662	1,657
退職給付に係る調整累計額	△24	△21
その他の包括利益累計額合計	12,920	9,572
純資産合計	99,321	92,750
負債純資産合計	174,204	168,887

(２) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第１四半期連結累計期間 (自 2025年３月１日 至 2025年５月31日)	当第１四半期連結累計期間 (自 2026年３月１日 至 2026年５月31日)
売上高	35,605	46,279
売上原価	15,126	20,203
売上総利益	20,478	26,075
販売費及び一般管理費	18,964	23,563
営業利益	1,514	2,512
営業外収益		
受取利息	10	16
受取配当金	69	558
持分法による投資利益	272	213
不動産収入	84	37
為替差益	—	119
その他	100	107
営業外収益合計	539	1,053
営業外費用		
支払利息	4	199
不動産賃貸費用	8	10
為替差損	104	—
その他	19	38
営業外費用合計	137	249
経常利益	1,916	3,316
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	253	263
関係会社株式売却益	105	—
その他	0	—
特別利益合計	361	265
特別損失		
固定資産除却損	2	3
減損損失	32	8
投資有価証券評価損	13	—
関係会社株式売却損	155	—
その他	48	29
特別損失合計	252	41
税金等調整前四半期純利益	2,025	3,541
法人税、住民税及び事業税	153	1,303
法人税等調整額	△72	135
法人税等合計	81	1,439
四半期純利益	1,944	2,102
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,966	2,102

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第１四半期連結累計期間 (自 2025年３月１日 至 2025年５月31日)	当第１四半期連結累計期間 (自 2026年３月１日 至 2026年５月31日)
四半期純利益	1,944	2,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	354	△3,345
為替換算調整勘定	△243	△12
退職給付に係る調整額	11	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	7
その他の包括利益合計	116	△3,347
四半期包括利益	2,060	△1,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,111	△1,245
非支配株主に係る四半期包括利益	△50	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(追加情報)

(「従業員持株会信託型ＥＳＯＰ」)

当社は、2025年7月14日開催の取締役会決議に基づき、福利厚生の一環として、従業員インセンティブ・プラン「従業員持株会信託型ＥＳＯＰ」を再導入しております。

①取引の概要

当社は、「ＴＳＩ社員持株会」(以下、「持株会」といいます。)に加入する当社グループ社員のうち、一定の要件を充足する者を受益者とする信託(以下、「持株会信託」といいます。)を設定しました。

持株会信託は2025年8月より5年間にわたり持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を、借入により調達した資金で予め取得しました。その後、持株会による当社株式の取得は、持株会信託により行ないます。なお、当社は、持株会信託の当該借入に対し補償を行なっております。

②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度396百万円、354千株、当第1四半期連結会計期間358百万円、320千株であります。

③総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度407百万円、当第1四半期連結会計期間407百万円

(「株式給付信託(ＢＢＴ)」)

当社は、2016年5月25日開催の第5期定時株主総会決議に基づき、当社の取締役及び委任型執行役員並びに当社グループの取締役(以下、「対象役員」といいます。)に対する業績連動型の株式報酬制度「株式給付信託(ＢＢＴ)」を導入しております。

①取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、対象役員に対して、役員株式給付規程に基づき、業績達成度等に応じて付与されたポイントに相当する当社株式及び当社株式を退任日時時点の時価で換算した金額相当の金銭(以下、「当社株式等」といいます。)が信託を通じて給付される報酬制度であります。

なお、対象役員が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として対象役員の退任時とします。

②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度267百万円、474千株、当第1四半期連結会計期間267百万円、474千株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 2025年３月１日 至 2025年５月31日）

１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	アパレル 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	34,122	1,483	35,605	—	35,605
セグメント間の 内部売上高又は振替高	34	139	173	△173	—
計	34,156	1,622	35,779	△173	35,605
セグメント利益	1,679	147	1,827	△312	1,514

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂関連事業及び店舗設計監理事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△312百万円は、事業セグメントに帰属しない全社費用及び連結会社間の内部取引消去額等によるものです。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	アパレル 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	43,775	2,503	46,279	—	46,279
セグメント間の 内部売上高又は振替高	34	144	178	△178	—
計	43,809	2,648	46,457	△178	46,279
セグメント利益	2,499	346	2,846	△334	2,512

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売代行及び人材派遣事業、店舗設計監理事業及び飲食事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△334百万円は、事業セグメントに帰属しない全社費用及び連結会社間の内部取引消去額等によるものです。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	734百万円	953百万円
のれんの償却額	114	574